

# 第6学年 学年別分科会

④ 平清盛は、どのようにして力を伸ばしていったのだろうか



平氏と源氏の争いの様子

戦いはげい  
燃えている  
土血している  
ったい

平氏が勝つ



平清盛

力をもつ  
どんな風に?

予想

- 武力で(平治の乱)  
相手を倒す(負はれない)
- 貴族を利用
- 藤原氏みたいに
- 政治をとりかめに!!

<調べたこと>

清盛(平氏)が力を伸ばしたのは



政治の実権を握る

藤原氏みたい

長く続かない!!



つまり どのような政治?  
・平氏一族のための政治  
・平氏独占の政治  
・がんばったから、武士の世の中

平氏は、源氏との戦いで勝利して、天皇や貴族と結びつき、力を伸ばした。

令和2年度研究主題

# 社会とつながり未来を創る子供の育成

～社会的事象の見方・考え方を働かせ、  
主体的に問いを追究する学習を通して～

## 社会科学習で育てたい子供とは？

知識・技能

思考力・判断力・表現力



社会をよく見て、  
様子や仕組みが  
分かる子

問い  
を  
もち

くらべたりつなげ  
たりして特色や  
意味を考える子



社会の出来事を自分とつなげ、  
よりよい社会づくりに  
関わっていこうとする子

学びに向かう力・人間性





## 社会科学習で育てたい子供とは？

- ◆社会をよく見て、様子や仕組みが分かる子
- ◆くらべたりつなげたりして特色や意味を考える子
- ◆問いをもち社会の出来事を自分とつなげ、  
よりよい社会づくりに関わっていかようとする子



子供



分かる・考える



つながる



問い・関わり



社会

未来  
発展

## 社会科学習で育てたい子供とは？

- ◆社会をよく見て、様子や仕組みが分かる子
- ◆くらべたりつなげたりして特色や意味を考える子
- ◆問いをもち社会の出来事を自分とつなげ、よりよい社会づくりに関わっていかようとする子



希望  
責任



子供

未来を創る

分かる・考える



つながる

問い・関わり



未来  
発展



社会

# 令和2年度東京都小学校社会科研究会の研究

## どのような学びのプロセスで育成するのか？

### 社会とつながり未来を創る子供

主体的な問題解決

現実社会を学習  
対象とする段階

いかす

まとめる

調べる

つかむ

切り取られた  
社会を学習対象  
とする段階

#### 【内容の取扱い】

- ◆自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできるように配慮すること
- ◆多角的に考えて、これからの発展について、自分の考えをまとめることができるように配慮すること

社会事象との出会い

教材の開発・分析

# 令和2年度東京都小学校社会科研究会の研究

## 研究主題

### 社会とつながり未来を創る子供の育成

社会的事象の見方・考え方を働かせ、  
主体的に問いを追究する学習をつくる研究の重点は？

## 教材開発・教材分析

- 見方・考え方を働かせる教材
- 関わり方を考える教材
- 人の働きを共感的に捉えられる教材
- 東京らしい教材





# 令和2年度東京都小学校社会科研究会の研究

## 研究主題

社会とつながり未来を創る子供の育成

社会的事象の見方・考え方を働かせ、  
主体的に問いを追究する学習をつくる研究の重点は？

## 研究の重点内容

- ① 主体的に追究する問いの工夫
- ② 見方・考え方を働かせる学習活動の工夫
- ③ 子供の学びを確かにする評価の工夫

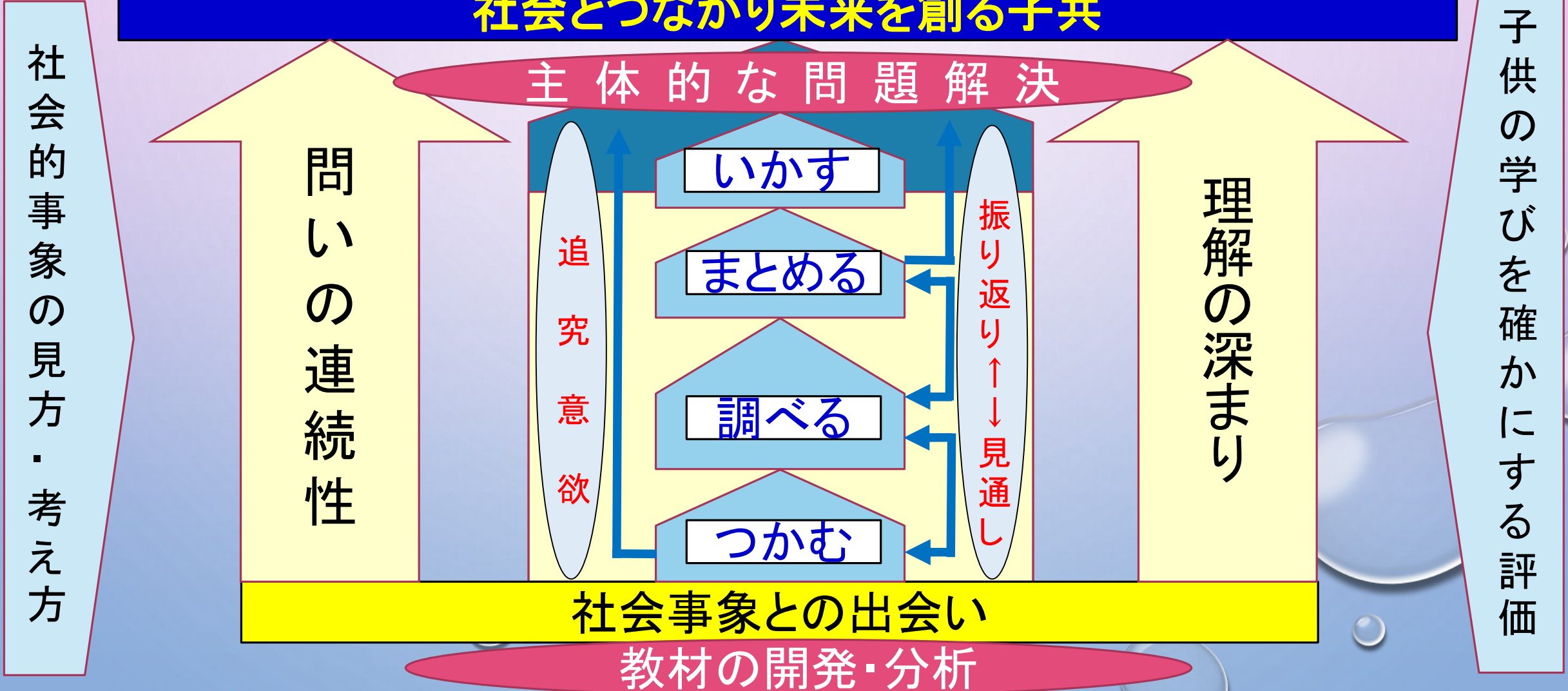




# 令和2年度東京都小学校社会科研究会の研究

## どのような学びのプロセスで育成するのか？

### 社会とつながり未来を創る子共



社会とつながり  
日常に生かせる

よりよい社会

社会科



自分事  
参画意識

関心・問題意識

暗記教科  
苦手...

他人事



社会認識

# 研究理論

## 目指す児童像



我が国の政治、歴史、国際社会における役割の確かな理解を基に、社会的事象の意味や特色について多角的に考え、我が国の未来を考えようとする子供の育成



## 研究の仮説



我が国の政治、歴史、国際社会における役割の確かな理解につながる問いや、学習したことを基によりよい社会をつくらうとする問いをもてるように教材や学習活動を工夫すれば、多角的に考え、我が国の未来を担う国民としての自覚をもとうとする子供が育つであろう。



1

「問いの連続性や構造化」を意識しながら元構成を考えたことで、政治学習と歴史学習をつなげて問いを構成することができた。また、予想に基づいて毎時間の問いを位置付けたことで、計画的に追究を行うことができた。

# 研究の成果



2 調べて・考える学習活動が明確になった。

(比較・分類・関連・総合させる)

- ①関係図を活用して時代の特徴を捉えること
- ②既習事項を活用して自分の考えを書かせること
- ③立場を明確にして調べる活動を進めること

歴史的事象と国民（地域）の生活を関連付けて考えさせることで、**児童が歴史を身近なこととして捉えることができた。**



# 研究の成果



3

年間を通して学習計画に基づいて、学びを振り返ったり、学んだことを位置付けたりする取組をしたことで、「調べる」段階で児童も教師も学びを明確に捉えることができた。さらに、それを「まとめる」段階で関係図やキキャプションに整理することで、**学びの足跡を整理することができた。**



## 1 主体的に追究する問いの工夫

### ○問いの連続性や構造化

「単元内における問いの連続性や相互関係における問いの関連性」

実践事例 1 ・ 時代相互における政治の特徴を踏まえて、政治先習を生かした問いを位置づける

実践事例 2 ・ 学習計画づくりで世界に認められるための様々な取組を予想させ、その予想に基づいて毎時間の問いを位置づける

### Ⅲ 研究の内容

## 2 学習活動の工夫



○比較・分類・総合したり国民(地域)との生活と  
関連付けて考える学習活動の工夫

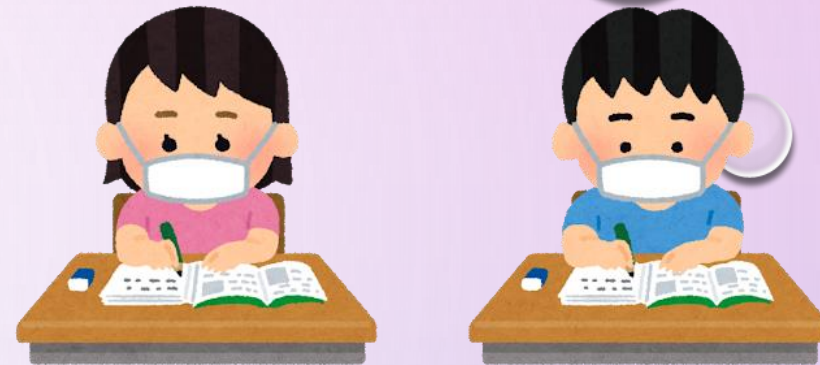
実践事例1・関係図の活用⇒「為政者」「政府」「国民(庶民)」「  
外国とのかかわり」の4つの視点で調べたことを表  
現する

実践事例2・調べる段階で、学習内容と自分たちが住んで  
いる地域とのつながりがわかる資料を活用す  
ることによって、歴史的事象と国民(地域)の生活  
を関連付けて考えられるようにする。



## Ⅲ 研究の内容

### 3 評価の工夫



#### ○学習の見通しと振り返り(集団的な学習調整)の工夫

実践事例1・既習の政治学習との比較⇒政治の学習で学んだことを踏まえて振り返りをする

実践事例2・毎時間のまとめや振り返りをキャプション(見出し)にし、「まとめる」段階で年表に整理することで、学びの足跡を概観できるようにする

### Ⅲ 研究の内容

## 4 教材開発や教材分析



○時間的・空間的・相互関係的な視点から  
視野を広げる教材開発

実践事例1・政治先習を生かした、「国の政治の在り方」を基にした教材の開発

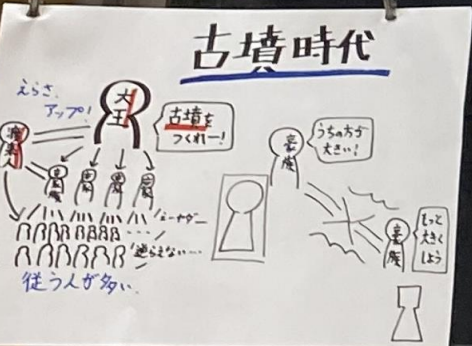
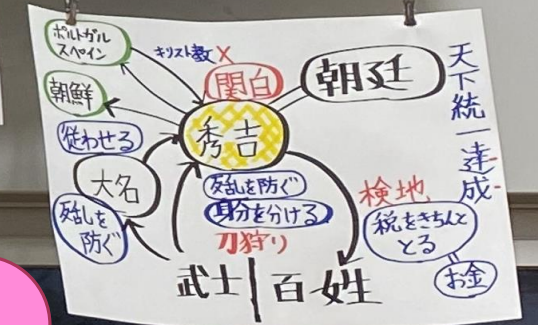
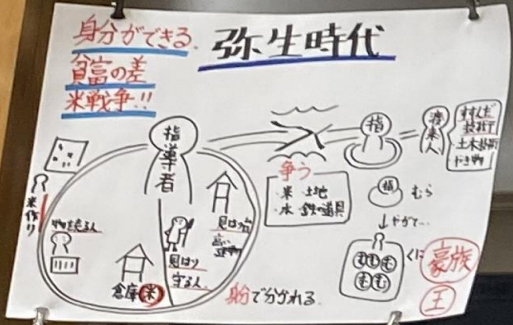
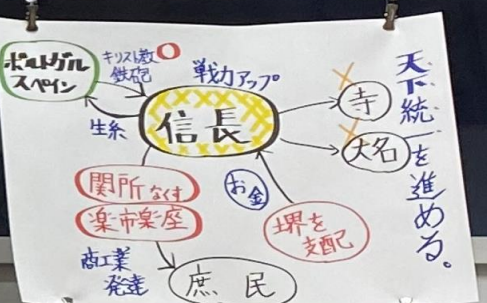
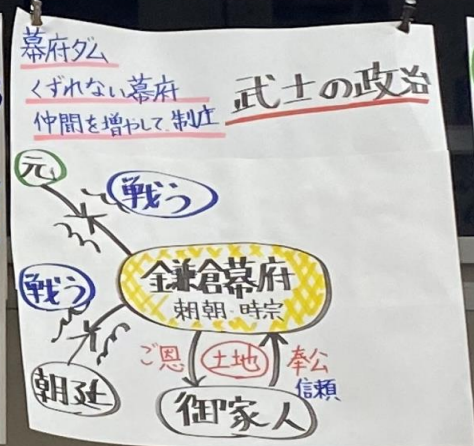
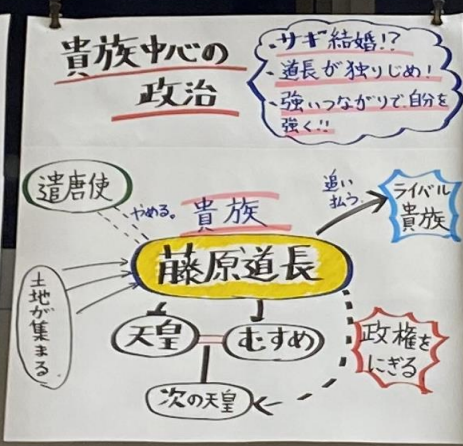
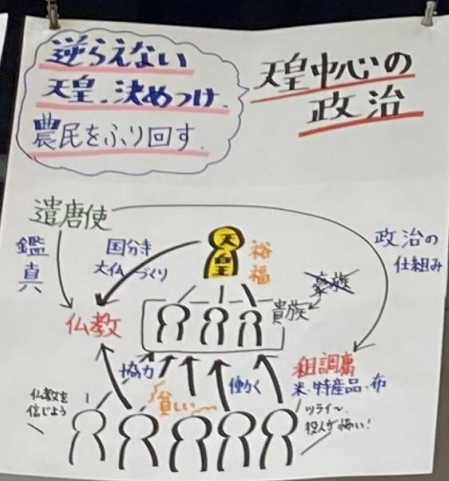
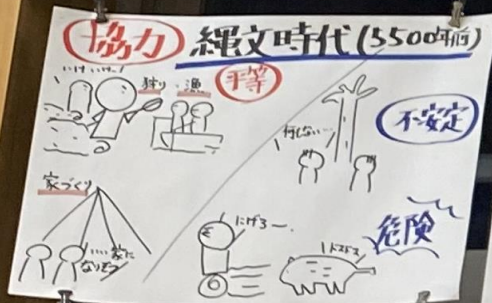
実践事例2・児童にとって身近な町田市と歴史的なつながりのある教材開発



# 実践事例 1

# 武士の世の中へ

世田谷区立烏山北小学校 木村洋介



今年度は、学習の  
まとめとして関係図  
を活用しました!



本実践のポイント!

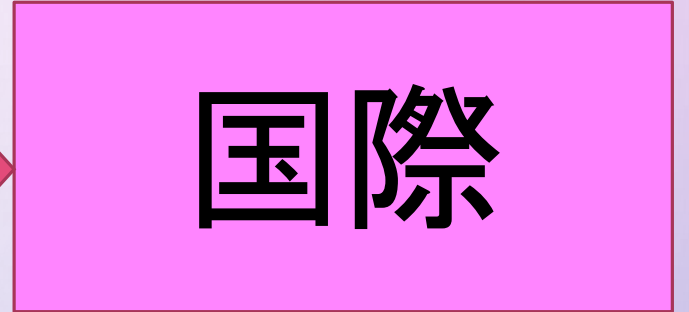


# 政治の移り変わりに 着目した歴史学習

つまりテーマは  
**つなぐ...**

# 社会科の大単元の変化

従来



現在



歴史学習において政治の移り変わりに着目するための(手立て)

① 問いの連続性を意識して、単元を構成する。

② 政治の仕組みを踏まえて  
歴史的事象を関係図に表す。



# 指導計画(全6時間)

手立て①

## 学習問題

この時代に登場した武士は、どのような政治をしたのだろうか。

平清盛は、どのようにして勢力を伸ばしていったのだろうか。

源氏は、どのように平氏を倒したのだろうか。

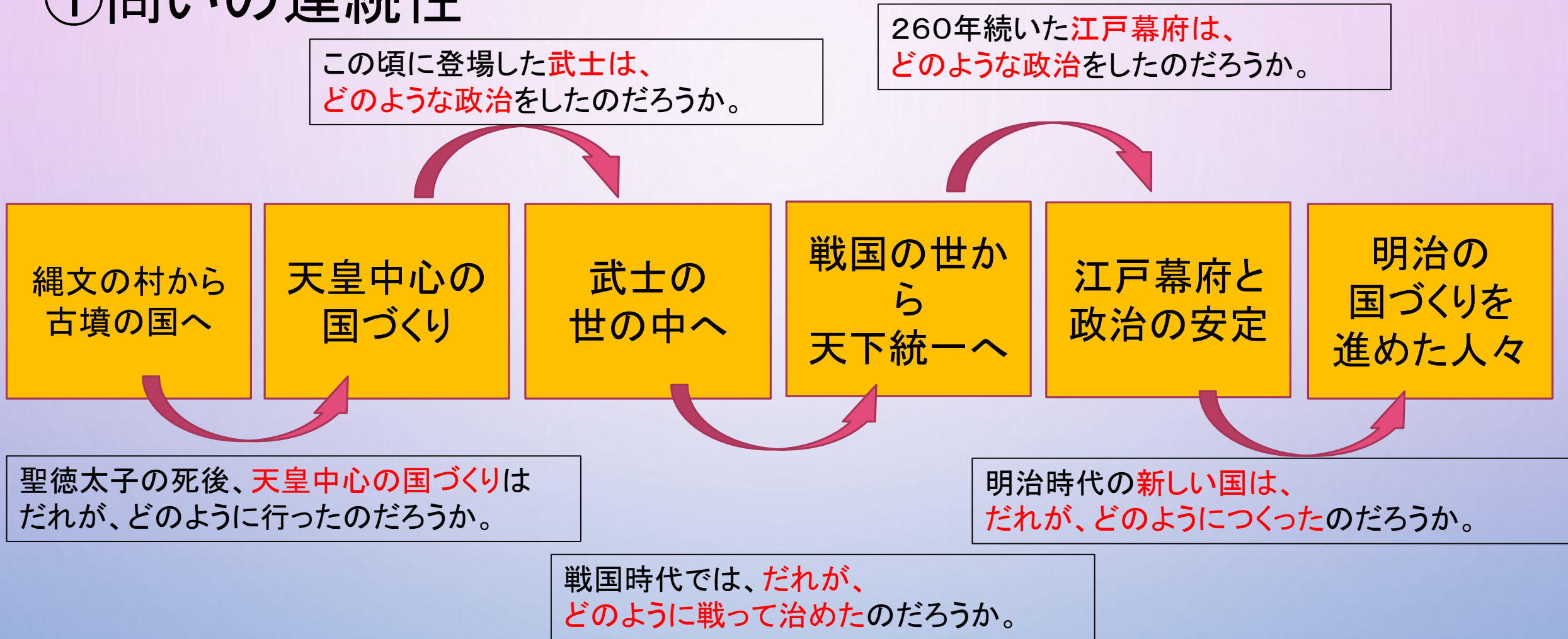
頼朝は、どのような政治をしたのだろうか。

北条時宗は、どのように元と戦ったのだろうか。

手立て②

頼朝は、御恩と奉公など土地によるつながりをうまく使って政治を安定させていた。きまりや仕組みを作って政治を行っているということは、天皇中心から武士の世の中になっても、変わらないことが分かった。さらに現在の政治の仕組みや進め方にも共通することがあることが分かった。

# ① 問いの連続性



「為政者はどのように政治を行ったのだろうか」と、  
小单元ごとに共通した視点で「問い」をつくる。

②政治の仕組みを踏まえて歴史的事象を**関係図**に表す。

為政者(誰が)

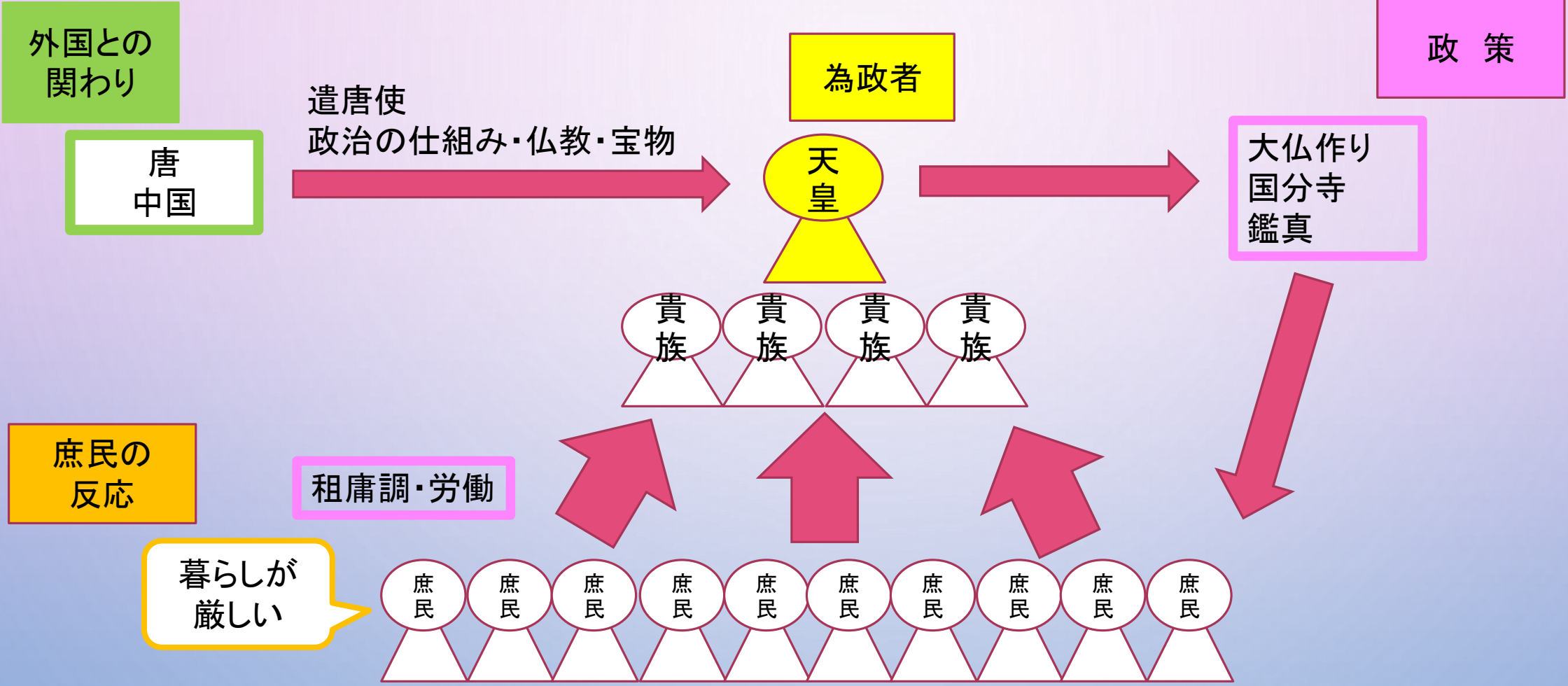
外国との関わり

政策(何をした)

庶民の反応

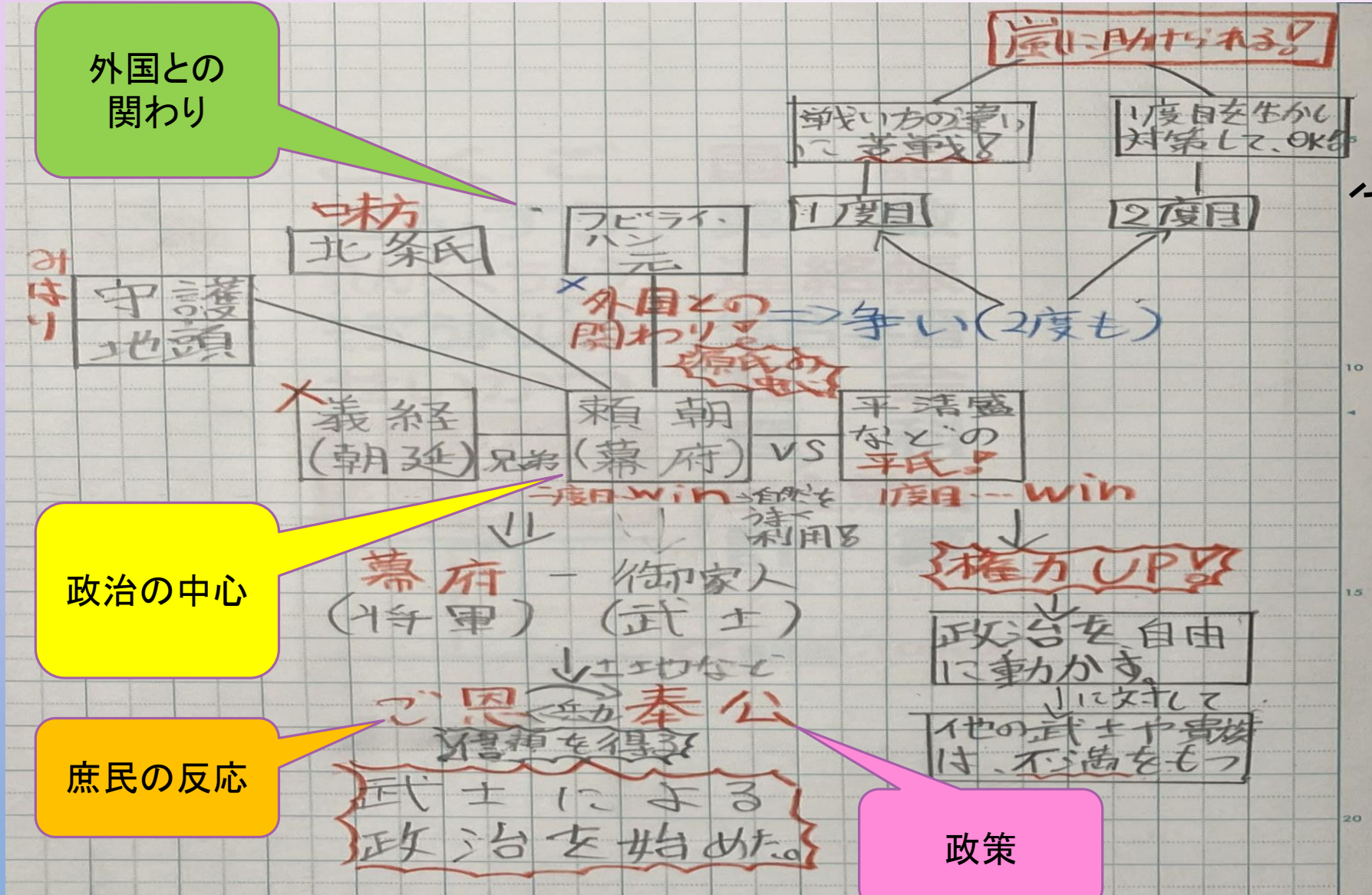


# ②政治の仕組みを踏まえて歴史的な事象を関係図に表す。



その時代の様子を関係図で整理する。

## ②政治の仕組みを踏まえて歴史的事象を**関係図**に表す。



「武士による政治の**関係図**を書く・説明をする。」

### 本時の展開

- ①単元の学習を振り返る。
- ②関係図に必要な**言葉**を考える。
- ③武士による政治の**関係図**を書く・説明をする。
- ④関係図に**キャプション**(見出し)をつける。
- ⑤学習問題に対する**考え**をまとめる。





# 実践事例 2 明治の国づくりを進めた人々

町田市立南成瀬小学校 沼田 一臣

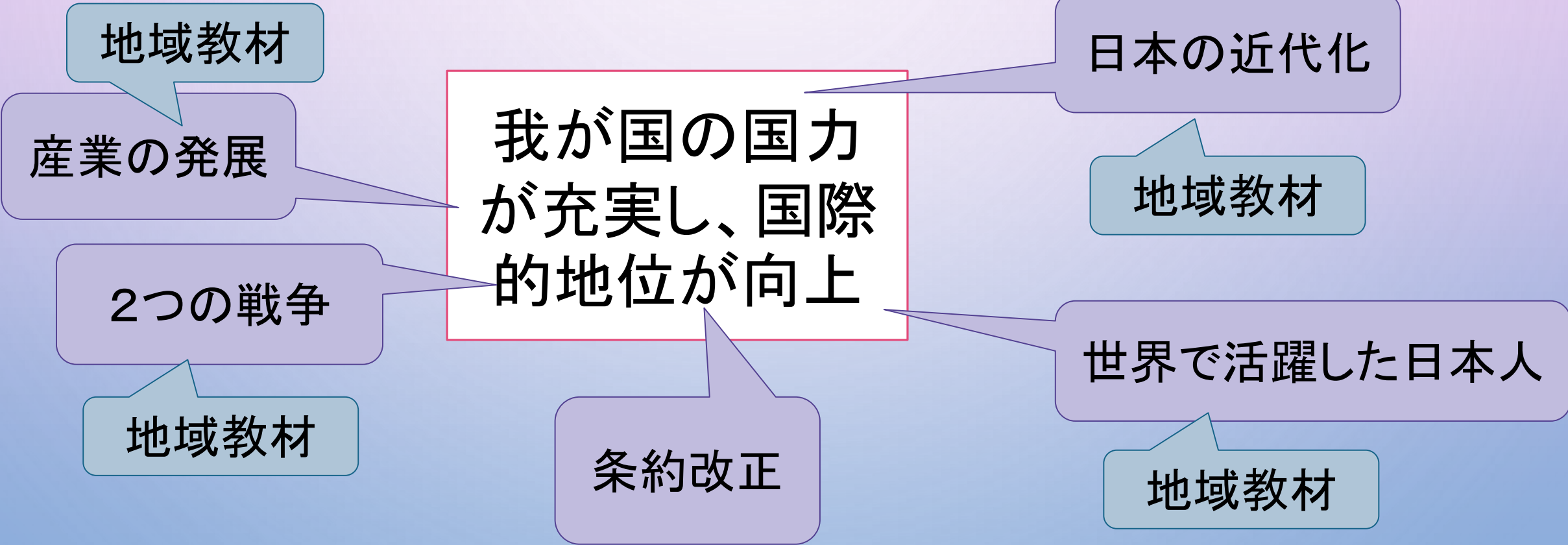
今年度は、学習の  
まとめとして関係図  
を活用しました!



# 本実践のポイント!



社会的事象の意味や特色について  
多角的に考える授業実践



# 社会的事象の意味や特色について 多角的に考えるための手立て

## ① 見方・考え方を働かせる学習活動の工夫

### 「東京都の教材」

地域の具体的な事象から全国の概括的事象を考える。

## ② 多角的に考えたことを関連付けさせるための工夫

### 「毎時のキャプション」

毎時のキャプションづくりの活用と整理（関係図）

「つかむ」～「まとめる」まで学びの足跡を概観できる。

学習  
問題

ノルマントン号事件の判決や、不平等条約についての疑問から学習問題をつくる①

◆日本はどのようにして世界の国々に認められるようになったのだろう。

日本の取り組みを年表から予想し、学習計画を立てる②

町田の  
自由民権運動

近代化を進めながら条約改正を進めた過程を調べ、その影響や変化を考える③

日清日露戦争について調べ、その影響や変化を考える④

町田の慰霊碑

産業の発展について調べ、その影響や変化を考える⑤

横浜線

国際社会における日本人の活躍を調べ、その影響や変化を考える⑥

地域にある  
北里大学病院

これまでの学習内容を関連付け、条約改正ができたわけを考える⑦

条約改正までの過程を年表を基に整理し、学習問題に対する考えをまとめる⑧

◆国会開設、憲法制定などの政治の近代化や、日清日露戦争の勝利、産業の近代化などにより、欧米諸国に日本の力が認められるようになり、条約が改正され、欧米諸国と対等な関係になった。

追究

問題  
解決



# ① 見方・考え方を働かせる学習活動の工夫（東京都の教材）

- 学習内容と関わりのある地域教材を単元に位置付ける

## 3時間目

～政治改革についての学習～



- 町田の自由民権運動
- 絹の道を通じた外国との交流

## 4時間目

～日清・日露戦争についての学習



- 町田市戦没者慰霊塔

## 5時間目

～産業の変化についての学習～



- 町田を通り鉄道で横浜に運ばれる絹

## 6時間目

～世界で活躍した日本人についての学習～



- 北里柴三郎と北里大学

地域の具体的事象から全国の概括的事象を考える！

# ② 多角的に考えたことを関連付けさせるための工夫

- 毎時のキャプション付けと活用、整理(年表から関係図へ)

日本はどのようなこととして世界の国々に認められるようになったのだろうか

年	主な出来事
1868	明治維新
1871	ヨーロッパに使節団が送られる
1877	国民の間で、政治に参加する運動が広がる
1895	ノルマントン号事件がおこる この頃、条約改正に何度も失敗する
1899	アジアの国々にさきがけて、 大日本帝国憲法が公布される
1900	日本で初めて選挙が行われ、国会が開かれる
1904	陸奥宗光がイギリスと条約の一部を改正する 日清戦争(～05)
1906	北里三郎がノーベル医学賞の候補になる
1908	官営八幡製鉄所で生産が始まる
1911	日英同盟を結ぶ
1914	日露戦争(～05)
1915	生糸の生産高・輸出量が世界一になる
1917	小村寿太郎が条約改正を達成する どの国も日本の条約改正に反対しなかった
1918	野口英世がノーベル医学賞の候補になる

日本の政治の変化  
イニシアチブを世界に求め  
国民に

戦争に勝ち世界に認められた日本

産業を発展させ世界に認められた日本

世界に認められるためにつやく人々

条約改正のために行ったこと

自衛隊が住んでいる地域  
日田民権運動  
が行われた  
町田も死者がでた  
横浜終結した。  
北里大学

日本の政治を  
国民が動かす  
ことに  
成功した

条約改正のために  
色んな所を色々な  
人がつやくしては  
いた

学習問題のつたえ  
日本は、政治をしかりと国会をひらき  
国民の意見を反映させる方針にし、大日本帝国  
憲法を作った。  
また、2つの戦争に勝ち軍事力、資金力を増かし  
生糸の生産高が世界一になり鉄道もつくり短時  
間で大量に輸輸出した。  
そして世界で文化科学政治で活やくする人  
がでた。この多くが町田も関係していた。この  
うたこととして条約改正が成功し世界の  
国々に認められた。

- 社会的事象を関連付けて捉える
- 各時間の学習内容を関連付けている



学習問題について考える

「つかむ」から「まとめる」まで総合して、社会的事象を考えられる！

# 東京都らしい教材を扱ったことで...

## 地域や日本への愛着

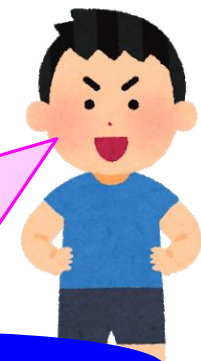
つかむ

調べる

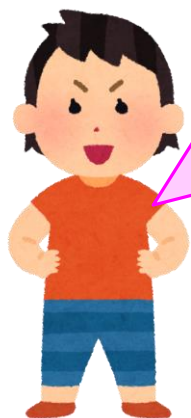
まとめる

いかす

日本の産業の発展の一部を町田市が担っていたことを知ることができて、明治の世の中を支えていたことに**嬉しさがこみあげてきた!!**



自分たちの住んでいる町田市の  
地域教材を扱おうと...



私たちの住んでいる町田市は歴史に深く関わりがある。今現在の横浜線は、物流の関係で日本の発展を支えた。町田からも戦争の参加者がいたこと。自由民権運動に参加をしていたこと。**今まで、歴史を遠く感じたけれど、身近に感じて世界との関わりをもっていた町田はすごいと思った!!**




# 提案授業



## 「世界の未来、日本の役割」(8時間)


④ 世界には、どのような課題があるのだろう

**水**




知らない  
↑  
→きれいにする力  
→届けない(ペイントボール)  
↑  
かわいそう  
仕方ない  
設備×  
↑  
自分で選べない  
きれいな水はない

**食料**




ハンガーマップ  
〈世界の課題〉  
・教育 ・環境  
・紛争 ・衣食住  
・医りよう ・人種差別  
・偏見

**水**




毎日800人もの子どもが、汚れた水や不衛生な環境が原因で命を落とされています。

**食料**




小さな子どもたちが命を落とす原因の約半分は「栄養不足」が関わっています。

**医療**




日本では当たり前に行きつけられる病気が原因で5才まで生きられない子どもが、年間810万人もいます。

**教育**



その日の食糧を手に入れるために、学校に行けず仕事をする子どもたちが多くいます。



なぜ、医師なの？  
・人のため、病気が広がらない  
・作物 → 健康  
↳ 食べる (衣、食、住)

なぜ、支援しないの？ ← 助けを出して、足りない  
↳ 現状を変えよう

発展している ← 先進国がもっと支援  
→ 全世界に協力  
← 小さい国の教育  
← 子供を守る

難し ← (後世) 技術

↓ 全てはつながる  
(様々な課題)

学習問題

世界にあるたくさんの課題を解決するために、日本は何をすればよいのだろう。

江戸川区立本一色小学校  
安齋伸介教諭・野口貴子教諭



### ★本実践のポイント★

持続可能な社会について  
考え続けることのできる実践







### ☆ 研究内容との関連 ☆

- ★ 学習問題や問いの視点を揃える
- ★ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う世界の問題に対して、SDGsと結びつけて日本ができることを「選択・判断」する学習活動
- ★ 年間を通して活用している学習の計画表に基づいた学びの振り返りと学んだことの位置づけ







つかむ

《問い》 世界ではどのような課題が起きているのだろう。

調べる

学習問題

世界の様々な課題を解決するために、  
日本はどのような活動をしているのだろう。

まとめる

学習計画

世界の課題を解決するための  
・日本政府の取組 ・民間団体の取組 ・国連の取組

いかす

# 提案授業



## 「世界の未来、日本の役割」第3時～第5時

つかむ

調べる

まとめる

いかす

《問い》

日本政府は、世界の課題を解決するためにどのような取組を行っているのだろうか。

《問い》

民間団体は、世界の課題を解決するためにどのような取組を行っているのだろうか。

《問い》

国連は、世界の課題を解決するためにどのような取組を行っているのだろうか。

《考え》

日本政府は、井戸を建設したり、井戸の管理を教えたりして、世界の人々の命を助けるだけでなく、その国の自立に向けて技術を提供して助けている。

《考え》

民間団体で働く日本人は、子供の健康状態を確認したり野菜づくりの方法を現地の村の人に教えたりして、支援している国の自立に協力している。

《考え》

国連は、SDGsを決め、目標の達成を目指している。さらに、日本は国連の一員として資金をたくさん出している。自分たちにもできることを考えていきたい。



つかむ

調べる

まとめる

いかす

日本の様々な立場の人が世界の国々を支援したり、世界の国々と協力して活動したりして、世界で起きている課題を解決しようとしている。



### 学習問題に対する自分の考え



調べたことから、日本は水や農業、医療などの分野で自分たちの優れた技術を生かして、外国の課題を何とかしようと努力していた。それに対して、SDGsなど、世界で決めた目標があるのだから、自分たちもしっかりと協力していかなければならない。けれど、**どんなことに協力できるのだろうか？それをもっと考えなければならない。**





つかむ

調べる

まとめる

いかす

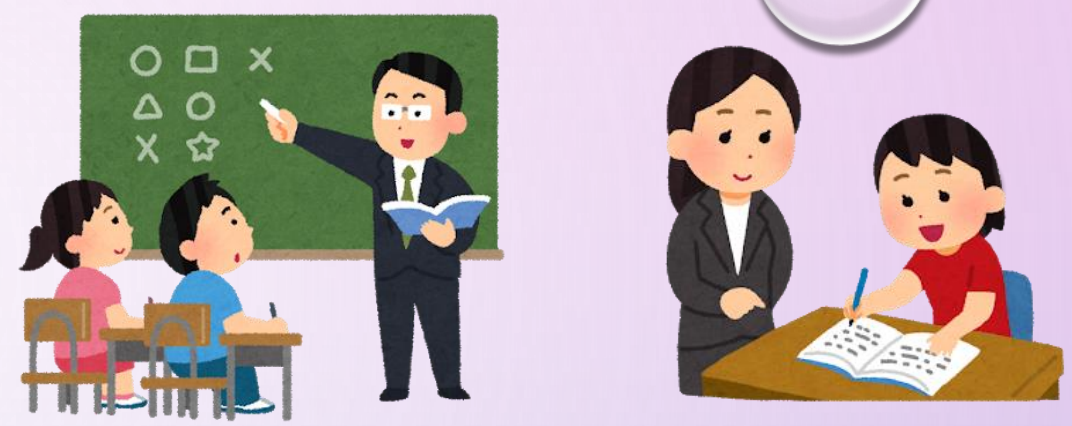
《問い》

日本は、これからどのように国際貢献をしていけばよいのだろう。



日本は、自分たちの国の得意な分野を生かして、日本だけではなく、外国の人や国の様々な機関と協力しながら、世界中で起きている課題にしっかりと向き合い、解決のために努力をする必要がある。だからこそ、世界共通の目標が設定された。それに関心をもって、自分たちだったら何ができるのかを考えていくことが大切だと思う。

# 研究の課題



- **まとめにおける表現活動を吟味する必要がある。**  
＜関係図に絞るのではなく、単元や内容の展開に合ったまとめ方を行うことで、学習内容に対して、確かな理解や多角的な思考を促すことに有効になる。＞
- **集団的な学習調整は、今回の検証授業の中では、難しかった。**



**END**